

別紙3

公立学校建物の鑑定による耐力度調査説明書

耐力度調査票又は耐力度簡略調査票により耐力度を測定することができないとき又は適当でないと認められるときの耐力度調査は、大学教授等の専門家の鑑定による耐力度測定を調査者が現地にて照合確認する方法により実施することができるものとする。この場合、下記の「鑑定による耐力度調査票」を作成することとし、耐力度調査票又は耐力度簡略調査票に定める測定項目を、当該建物の実態に即した適切な測定項目に置き換える等の方法で、構造耐力、保存度及び外力条件のそれぞれについて評点合計を求め、これらに乗じることにより耐力度の測定を行うものとする。

鑑定による耐力度調査票

							No	
都道府県名			設置者名			学 校 名		
調 査 者				鑑 定 者				
棟番号		構造階数	・	面積		m ²	建築年	年 月
調査期間	~			耐 力 度	点			
耐力度調査票又は耐力度簡略調査票により耐力度を測定することができない又は適当でないと認められる事由								
鑑 定 内 容		所 見			評 点			
	構 耐 造 力							
	保 存 度							
	外 条 力 件							
容	総 判 合 定							